

すわみつえ通信

No.124 2020年5月18日(月)

日本共産党鴻巣市議会議員

諒訪 三津枝



連絡先 鴻巣市赤見台3-2-7
TEL: 596-9440 FAX: 507-4151
携帯: 080-5039-2785
E-mail: mi-suwa@ezweb.ne.jp
mitsue-suwa@jcom.zaq.ne.jp

WEBで

すわみつえ



ホームページで、すわみつえの政策とお約束をご紹介します。

福祉・教育最優先の街づくり 市民の声を生かし いのちとくらしを守る市政に

『特別定額給付金』 申請書の発送始まる

鴻巣市は、5月15日(金)より5月22日(金)の世帯主の皆さん宛てに「特別定額給付金」の申請書を発送しました。お手元に届きましたら、①申請書に名前・住所・電話番号・口座番号等を書き入れて捺印します。本人(世帯主)確認のためのもの(運転免許証・健康保険証等の「コピー」と②口座番号の確認ができるもの(通帳等の「コピー」)を準備して返信用の封筒で郵送してください。5月25日(月)から口座への振込を行いうことになりました。お間違いないようお願い致します。なお、①不明な場合は、鴻巣市役所内「コールセンター」0481-543-6551(平日9時~17時)にお問い合わせください。

マイナンバーカードを利用してのオンライン申請は5月7日より始まりており、すでに、1,350件(5月13日現在)の申請がありました。オンライン申請された方へも郵送で申請書が届きますが、申請書での申請は不要となります。

「新型コロナ対策」鴻巣市 議会は全員協議会を開催

5月14日(木)、ウェブ会議のすじで全員協議会が開催されました。大会議室A・Bを使用して議員一人一人の席の間隔を十分取り、1時間という短時間の

中で、新型コロナ緊急経済対策についての報告がありました。緊急事態宣言が出された中で、事業を行っている方々への市独自の左記の給付施策が始まります。ホームページで詳細の要綱と申請様式が公表されました。

- 「中小企業者等支援給付金」一律10万円(売上高が前年同月比5%以上減少の市内の小規模事業者・個人事業者)
- 「家賃等支援給付金」一律5万円(テイクアウト等支援補助金)
上限5万円



PCR検査センターが
設置されました

北足立郡市医師会が埼玉県の予算で共同運営を行います。5月12日(火)~5月27日(水)の平日12時45分~14時までの間に6名程度のPCR検査ができるそうです。体調に不安を感じましたら、まずはいつものお医者さんと相談をしてください。お医者さんの診断のもとPCR検査センターへ

3度目の要望書を市議会経由で執行部に提出しました。PCR検査センター設置については当初から求めてまいりましたが、開設が実現したことから、妊婦の方々への配慮を求めました。妊婦が感染した場合は一般より数倍の医療関係者の協力が必要になります。母子の命と医療体制を守るためにも、妊婦にPCR検査を受けられるよう検討を要請しました。

「新型コロナ感染対策」 新たに要望書を提出



毎週朝 駅頭においてホットなニュース「すわみつえ通信」をお届けします。

*新型コロナ感染症拡大防止のため、5月31日(日)まで駅頭でのお届けはありません。

検察庁法改定案 世論が与党追い込む

改定案をめぐり、世論と運動の急速な盛り上がりが安倍政権と与党を追い詰めています。政権与党は15日までの衆院内閣委員会の採決を見送り審議は週明けに持ち越されました。



検察庁法改悪に反対して集まった人たち = 15日、国会正門前

信頼に傷、総長も黒川検事長も「辞職せよ」堀田力さん（元法務省 官房長）



ほった・つとむ 1934年産まれ。東京地検特捜部検事としてロッキード事件を捜査した。弁護士、さわやか福祉財団会長。=5月12日、東京都内撮影

検察幹部を政府の裁量で定年延長させる真の狙いは、与党の政治家の不正を追及させないため以外に考えられません。東京高検の黒川弘務検事長の定年を延長した理由に、政府は「重大かつ複雑困難な事件の捜査・公判の対応」を挙げました。黒川君は優秀な検察官ですが、黒川君でなければ適切な指揮ができないような事件はあります。

【朝日新聞デジタル 5月14日付】

「社会的距離」楽しく紹介 ビートルズ、クロマグロ

2m ≈ 1Beatles

2m ≈ 大人で3~4歩 / 子供で5歩 ≈ 約1ビートルズ



新型コロナウイルス感染防止のため人との間に取るべき距離を、アルバムアビーロードで横断歩道を渡るビートルズと表現するイラスト(NOSIGNER提供)

横断歩道を渡るビートルズ、クロマグロ1匹、自転車1台。新型コロナウイルス感染防止のため人との間に取るべき距離を、同じサイズの物で例えるユニークな紹介方法が広がっている。緊急事態宣言が解除された地域でも距離を保つことは求められており、関係者は「制約も楽しいものに」と呼びかけている。

新型コロナ対策をまとめた情報サイト「PANDAID」は、保つべき約2メートルの間隔を独自のイラストで紹介。運営するデザイン事務所NOSIGNER(横浜市)によると、認知度が高く意外性がある題材を採用した。世界中に拡散され「非常に分かりやすい」との感想も寄せられた。

【共同通信 5月16日付】

「非常の時」共感呼ぶ 勇敢な医療者たたえる高村光太郎の詩

彫刻家で詩人の高村光太郎(1883~1956)が、東京をたち疎開先の花巻に向かった1945年5月15日から75年を迎える。終戦5日前に遭った花巻空襲で、負傷者の救護に当たった医師、看護学校生らの勇敢さをたたえた詩「非常の時」の情景が、新型コロナウイルスの感染リスクと闘う医療従事者の姿と重なるとして、共感が広がっている。非常に人間は何をなすべきか、詩は訴えかけてくる。

「非常の時」の一節

非常の時

人安きをすてて人を救ふは難きかな
非常の時

人危きを冒して人を護るは貴いかな
非常の時

身の安きと危きとを両つながら忘じて
ただ為すべきを為すは美しいかな

【岩手日報 5月14日付】